

## 地盤工学会の論文集・学会誌に掲載された論文・報文等の機関リポジトリ等への掲載について

地盤工学会が発行する、Soils and Foundations, 地盤工学ジャーナル, 地盤工学会誌に掲載された論文・報文等について、地盤工学会は編集にかかわる著作権を有しています。著者が機関リポジトリ等への掲載する際には、以下のようにご対応いただけますよう、お願いいたします<sup>1</sup>。

### 1. Soils and Foundations について

現在、Soils and Foundations は Elsevier 社発行の雑誌として刊行されていますので<sup>2</sup>, Elsevier 社のポリシー<sup>3</sup>に従ってください。著者によるレポジトリやウェブサイトへの掲載に対する Elsevier 社の見解の概要は、以下のとおりです：

#### ■ Open Access (Under a Creative Commons license<sup>4</sup>) となっている論文<sup>5</sup>

【掲載版（出版社版）】（論文集に掲載された論文の最終版）

○即時：

- ・ 非商業的な個人のホームページまたはブログに掲載することが可能です。
- ・ 機関内での利用の目的で機関リポジトリに掲載する、または招待制の研究ワークグループの一部として共有することが可能です。
- ・ 非商業的なホスティングプラットフォーム（機関リポジトリなど）で共有することが可能です。

#### ■ Open Archive (Under an Elsevier user license<sup>6</sup>) となっている論文

【受理原稿】（著者が提出した最終原稿）

○即時：

- ・ 非商業的な個人のホームページまたはブログに掲載することが可能です。
- ・ 機関内での利用の目的で機関リポジトリに掲載する、または招待制の研究ワークグループの一部として共有することが可能です。

○エンバーゴ期間<sup>7</sup>（Soils and Foundations の場合は掲載から 12 か月）の終了後：

- ・ 非商業的なホスティングプラットフォーム（機関リポジトリなど）で共有することが可能です。

なお、掲載にあたっては、以下の条件を満足する必要があります：

- ・ DOI を使用して正式な出版社版にリンクしてください。
- ・ CC-BY-NC-ND ライセンス<sup>8</sup>を付与してください。

<sup>1</sup> Elsevier 社発行の Soils and Foundations には、プレプリントについての取り扱いについても規程がありますが、それについてはここでは記載しません。問題が顕在化した場合に、別途検討します。

<sup>2</sup> 2011 年以前のは、科学技術振興機構の J-Stage (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sandf/-char/ja>) で無料公開していますので、地盤工学ジャーナルと同じ扱いとします。なお、同じものが Elsevier にも掲載されていますが、こちらについては Elsevier 社のポリシーに従う必要があります。

<sup>3</sup> <https://www.elsevier.com/about/our-business/policies/sharing>

<sup>4</sup> <https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

<sup>5</sup> 1 ページ目の下部に This is an open access article under the CC BY-NC-ND license とある記事。

<sup>6</sup> <https://www.elsevier.com/open-access/userlicense/1.0/>

<sup>7</sup> Embargo period. オンライン公開の保留期間のことで、ここでは、有償購読者に不利益を与えないよう設定された猶予期間を意味する。

<sup>8</sup> <https://www.elsevier.com/about/our-business/policies/sharing/how-to-attach-a-user-license>

- ・ リポジトリなどのサイトで他の原稿と統合されている場合は、エルゼビアのホスティングポリシー<sup>9</sup>に従った方法で共有してください。
  - ・ 出版社版に似せる、または置き換える目的でいかなる方法でも追加または変更を行ってはなりません。
- 【掲載版（出版社版）】（論文集に掲載された論文の最終版）
- ・ 契約に基づいてのみ許可されます（一般には掲載不可）。

## 2. 地盤工学ジャーナルについて

現在、地盤工学ジャーナルは科学技術振興機構の J-Stage<sup>10</sup>で無料公開されています。著者によるレポジトリやウェブサイトへの掲載に対する地盤工学会の見解は以下のとおりです：

【受理原稿】（著者が提出した最終原稿）

- ・ 非商業的な個人のホームページまたはブログに掲載することが可能です。
  - ・ 機関内での利用の目的で機関リポジトリに掲載する、または招待制の研究ワークグループの一部として共有することが可能です。
  - ・ 非商業的なホスティングプラットフォーム（機関リポジトリなど）で共有することが可能です。
- なお、掲載にあたっては、DOI を使用して正式な掲載版にリンクしてください。

【掲載版】（論文集に掲載された論文の最終版）

- ・ 原則として掲載不可ですが、書面によりお申し出いただければ許可することがあります。

## 3. 地盤工学会誌について

電子版については、前身誌の土と基礎を含み、2015 年度以前に発行したものは国立情報学研究所の CiNii<sup>11</sup>で無料公開されています（現在、本文については国会図書館デジタルコレクションで公開しています）。2016 年度以降のものについては、学会の電子図書室<sup>12</sup>に掲載されているのみで、一般には公開されていません。なお学会誌は、非会員でも購読を希望する団体および個人には有料で販売を行っていることから（冊子版のみ）、エンバーゴ期間を設定しています。著者によるレポジトリやウェブサイトへの掲載に対する地盤工学会の見解は以下のとおりです：

【受理原稿】（著者が提出した最終原稿）

○即時：

- ・ 非商業的な個人のホームページまたはブログに掲載することが可能です。
- ・ 機関内での利用の目的で機関リポジトリに掲載する、または招待制の研究ワークグループの一部として共有することが可能です。

○エンバーゴ期間（地盤工学会誌の場合は掲載から 12 か月）の終了後：

- ・ 非商業的なホスティングプラットフォーム（機関リポジトリなど）で共有することが可能です。

なお、掲載にあたっては、書誌情報を正確に記載してください。

【掲載版】（学会誌掲載された報文の最終版）

- ・ 原則として掲載不可ですが、書面によりお申し出いただければ許可することがあります。

<sup>9</sup> <https://www.elsevier.com/about/our-business/policies/hosting>

<sup>10</sup> <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgs/-char/ja>

<sup>11</sup> <https://ci.nii.ac.jp/ncid/AA12312210>

<sup>12</sup> <https://www.jgs-library.net/>